

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|---|----------------|-------|-------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第 114 号 | 氏名 | 日高 匡章 |
| 学位審査委員 | 主査 | 佐々木 均 | |
| | 副査 | 石井 伸子 | |
| | 副査 | 中嶋 幹郎 | |
| 論文審査の結果の要旨 | | | |
| <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、葉酸修飾多糖体という新素材の高分子ミセルを用い、癌治療における標的化製剤としての有用性を評価しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> | | | |
| <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>各種製剤の比較により、標的化分子としての葉酸の重要性に焦点を当てるよう研究がデザインされ、インビトロおよびインビボにおける解析がなされており、研究手法も妥当である。</p> | | | |
| <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、多糖体の高分子ミセルを葉酸修飾することにより、抗がん剤の抗腫瘍効果がインビトロおよびインビボにおいて選択的に増強することを明らかにしており、今後の標的化製剤の開発および選択的癌治療における研究への進展が大いに期待される。</p> | | | |
| <p>以上のように本論文は新たな標的化製剤および選択的癌治療の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p> | | | |